

帝釈峡広域観光プロジェクト 推進実行委員会作業部会開催

9月21日(水)に庄原市役所東城支所で、「帝釈峡広域観光プロジェクト」推進実行委員会作業部会が開催されました。帝釈峡や周辺地域の観光の現状や課題について、観光団体等から意見が出されました。
次回は10月25日(火)に委員会を開催し、帝釈峡を中心とする観光振興のため、計画の方向性や目標について審議されます。



町立病院からのお知らせ

「平成23年度へき地医療貢献者表彰伝達式」



後列左から 病院事務局事務部長、牧野町長、県立病院課長、
前列左から 病院事業管理者、湯崎知事、原田院長、県立広島病院院長

9月30日(金)県庁で、平成23年度へき地医療貢献者表彰伝達式が行われました。この表彰は、医師で15年以上にわたって自治体立病院・診療所に勤務し、山村や離島などの、へき地医療に献身的に尽力された方に行われるもので、今回、神石高原町立病院の原田亘院長が表彰されました。

原田院長は、平成7年の赴任以来、長年にわたって神石高原地域の医療を担ってこられました。今後も、へき地医療拠点病院の院長として益々の活躍が期待されます。

「終末期の医療について」

9月28日(水)、第3回目の「まめくらぶ」が開催されました。内容は、服部医師による「高齢者の終末期医療」と渡辺管理栄養士による「高齢者の栄養管理」です。

「終末期医療」というテーマに、内容については覚悟して参加されたと思われるみなさんも、「自分の死について考えたことがありますか？人は必ず死を迎えます」という服部医師の問いに「う～ん」という雰囲気になりました。

終末期の医療については、家族の判断に委ねられる事が多いそうです。自分のため、家族のため、終末期の迎え方について考え、伝える必要があると感じました。

渡辺管理栄養士からは、食欲を出す工夫、食べやすくする工夫など食事のポイントの説明がありました。食べ物がおいしい秋になりました。五感を総動員して食事を楽しみましょう。

次回は11月30日(水)開催予定です。

町立病院健康学習会「まめくらぶ」



ご長寿おめでとうございませう！敬老会・敬老福祉大会開催



岡 澤美さん 上田 盛雄さん



大下シズヨさん 田中 安一さん

今年も各地区で敬老会・老人福祉大会が開催されました。町内の100歳以上の方は21人、今年度中に100歳になる(明治44年4月1日から明治45年3月31日までの間に生まれた方)7名の方へ、内閣総理大臣からお祝い状と銀杯が贈られました。これからは健康に気を付け、いつでもお元気でお過ごしください。

広島県消防ポンプ操法競技大会入賞



9月10日広島県消防学校グラウンドで、平成23年度広島県消防ポンプ操法競技大会が開催されました。この大会は消防ポンプ車操法の技術とスピードを競うもので、県内各地から15チームが出場しました。神石高原町消防団 油木方面隊チームは3番目に出場し、3月から半年間にわたる連日連夜の訓練の成果を遺憾なく発揮しました。大会結果は見事7位入賞(優良賞)を果たし、神石高原町消防団のポンプ操法技術の高さを示しました。



叙勲(瑞宝双光章)を受章されました

高下修邦さん(東油木)が瑞宝双光章を受章されました。高下さんは教育愛と情熱をもって永年にわたり学校教育の充実発展に尽力されました。

在職中、力を注がれた、体育教育・へき地教育・自然教育について、また公民館長として精力的に取り組まれた生涯教育について、その後の教育の在り方に多大なる影響を与え、その功績が顕著であると認められ受章となりました。



宝くじの助成金で公園の芝生化及び遊具設置

上ボランティアの会(代表小林和枝)では宝くじの平成23年度コミュニティ助成事業を活用して、上エコドリムパークの芝生化と遊具を設置しました。地域住民全体でのクリーン作戦(リサイクル収集)を8年前から実施されており、悲願であった活動の拠点としての「地域の憩いの場」が完成したことで、住民の拠り所としての活用が期待されます。



9月4日に行われた落成式の後には早速子ども達が遊具で遊んでいました。
自治宝くじ助成事業は、コミュニティの健全な発展と宝くじ事業の普及宣伝を目的として、(財)自治総合センターから地域の団体へ助成が行われています。

